

学部：ビジネス情報学部

学科：国際ビジネス学科

役職：教授

氏名：安藤鋭也（あんどうえつや）

Web：RESEARCHMAP https://researchmap.jp/etsuya_ando

教員 HP <https://etsuya-ando.jimdofree.com/>



最終学歴・学位等

上智大学経済学部卒業

中央大学大学院国際会計研究科修了 修士（国際会計）

中央大学大学院商学研究科博士後期課程修了 博士（会計学）

公認会計士登録、公認不正検査士試験合格、公認内部監査人試験合格

主な職歴

三井物産株式会社勤務を経て現職

株式会社やまびこ社外監査役

所属学会等

日本会計研究学会、日本簿記学会、日本ファイナンス学会

国際会計・サステナビリティ開示人材ネットワーク、公認会計士社外役員ネットワーク

専門・研究領域

専門分野：会計学

研究領域：財務会計、制度会計、国際会計

担当授業科目

学部：会計学基礎、会計学総論、財務会計論、国際会計論

大学院：制度会計特論、制度会計演習

主な論文・著作

博士学位論文

「国内会計制度のあり方－会計基準の国際的な統一を目前にして」2011年3月。

主要論文

1. 「連結ベースの配当に関する意義と課題」『大学院研究年報』第36号, 2007年, pp.63-78。
2. 「シングル・スタンダード vs ダブル・スタンダード－中小企業の会計基準を手がかりにして－」『企業研究』第11号, 2007年, pp.159-179。
3. 「確定決算主義と企業会計の関係－会計制度の変革の中で－」『大学院研究年報』第37号, 2008年, pp.125-141。
4. 「業績報告に関する考察－包括利益導入にあたって－」『企業研究』第13号, 2008年, pp.187-206。
5. 「わが国における中小企業会計のあり方－IASBによる公開草案を手がかりにして－」『大学院研究年報』第38号, 2009年, pp.73-88。
6. 「国内会計制度のあり方－会計基準の国際的な統一が進み、複数の会計基準が並存する現状において－」『企業研究』第29号, 2016年, pp.63-80。
7. 「国内会計制度の動向と課題－IFRS 任意適用企業拡大の先にあるもの－」『企業研究』第31号, 2017年, pp.313-339。
8. 「日本基準のあり方：英国による EU 離脱後の IFRS の行く末を見据えて」『上武大学ビジネス情報学部紀要』第19巻, 2020年, pp.35-60。
9. 「中小企業の会計基準に関する一考察－『中小企業の会計に関する指針』を手がかりにして－」『上武大学ビジネス情報学部紀要』第21巻, 2022年, pp.1-13。

以上